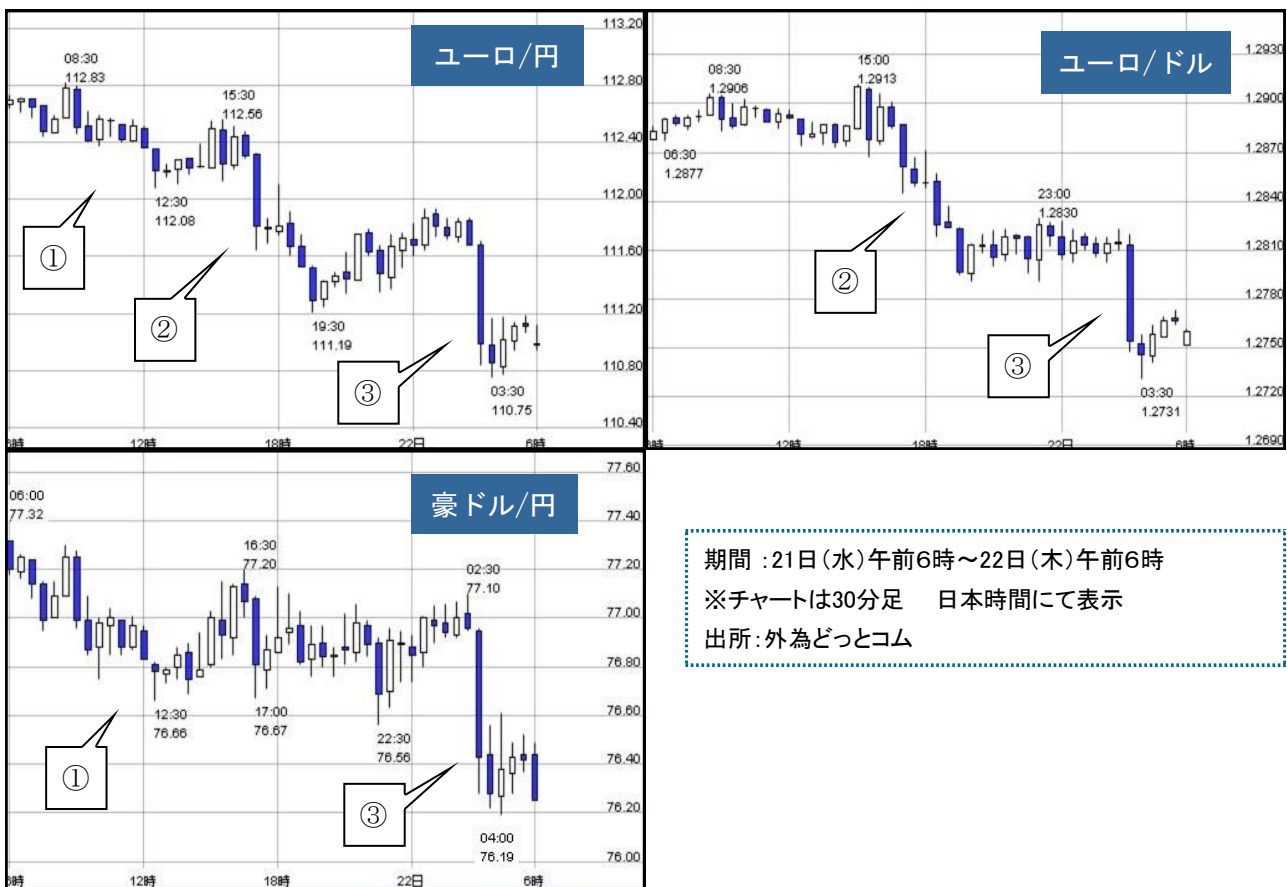


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

7月22日(木曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

議長発言や欧州債不調によりリスク回避の動きが強まる

21日(水)の主な推移



期間 : 21日(水)午前6時~22日(木)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所 : 外為どっとコム

- ① 高く始まった日経平均株価がその後上げ幅を縮小し、後場に入ると前日比でマイナスに転じたことにより、市場ではリスクに対して消極的となる動きへとつながった。これによりクロス円は軟調に推移し、ユーロ/円は112.08円、豪ドル/円は76.66円まで下げた。
- ② 欧州市場に入り、16時のロンドンフィクシングに向けてユーロ売りが強まり、ユーロ/ドルは下落。またポルトガルの1年物国債の入札が不調に終わり、独30年物国債も札割れとなるなど、ユーロ圏債務の圧力が懸念されてユーロが下落。ユーロ/円は111.19円まで、ユーロ/ドルも1.27ドル台後半まで、それぞれ下げた。
- ③ バーナンキ連邦準備制度理事会(FRB)議長は議会証言にて、「米経済見通しは異例に不透明、FRBは必要に応じ追加措置の用意」など米経済の先行き不透明感を示したことにより、市場ではリスクを回避する動きが強まると、ユーロ/円は110.75円、ユーロ/ドルは1.2731ドル、豪ドル/円は76.19円までそれぞれ下落した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2590-1.2840ドル
 ユーロ/円 : 109.90-112.10円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 74.60-77.30円

昨日は独やポルトガルでの国債入札が不調に終わったことや、バーナンキFRB議長のハト派的な発言を受け、市場でのリスク回避の動きに連れてユーロも軟調な展開となった。

本日は欧州内にて主だった経済指標や国債入札は予定されていないことから、米国の企業決算や経済指標に加え、主要国の株価に左右されやすい展開が見込まれる。

テクニカル面ではユーロ/ドルが 1.30 ドル台の上値の重さが嫌気され、調整局面入りの可能性が出ている中、1.2707ドル(7/15 安値)を巡る攻防に注目したい。(川畑)

本日の豪州では主だった経済指標の発表や要人発言も予定されていないことから、ユーロと同じく主要国の株価動向に加え、米国の経済指標や企業決算を意識しながらの動きが予想される。

ただ、昨日のバーナンキFRB議長の発言により、市場ではリスクを回避する動きが強まっていることから、豪ドル/円は上値の重い展開が見込まれる。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/22(木)	21:30	○	(米) 7/17 までの新規失業保険申請件数	42.9 万件	44.5 万件
	23:00	○	(米) 6 月中古住宅販売件数	566 万件	510 万件
	23:00	○	(米) 6 月中古住宅販売件数 [前月比]	-2.2%	-9.9%
	23:00	○	(米) 6 月景気先行指数 [前月比]	+0.4%	-0.3%
	23:00		(ユーロ圏) 7 月消費者信頼感・速報	-17	-17

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。